

# 鳥井家公私之日記

## (慶応 4 年閏 4 月)

〔ホームページ掲載元〕

豊岡市立図書館「郷土資料デジタルライブラリ」

<http://lib.city.toyooka.lg.jp/kyoudo/komonjo/>

〔二次利用にあたって〕

この史料は所有権が豊岡市以外の第三者にあります。

二次利用(掲載・展示等)される場合は申請書の提出が必要です。

〔問合せ先〕

豊岡市 文化振興課 文化財室

〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布 808

電話 番号 : 0796-21-9012

ファクス 番号 : 0796-42-6112

メールアドレス : bunkazai@city.toyooka.lg.jp

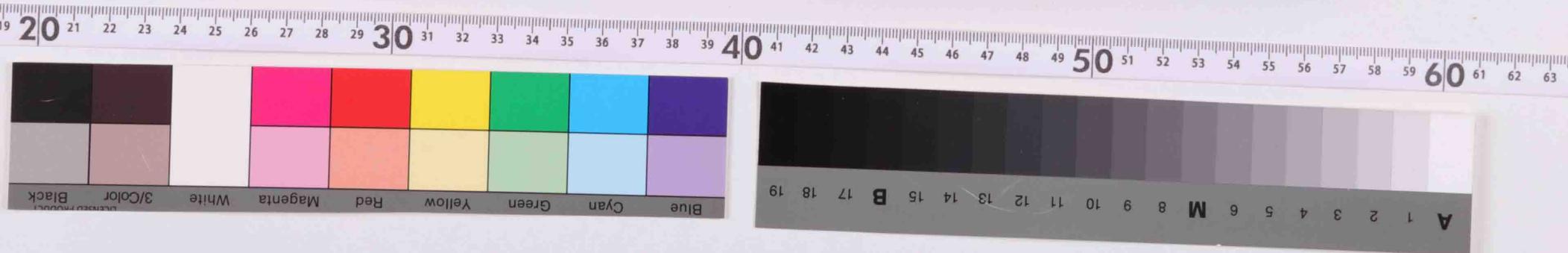
※図書館とは別の部署ですのでご注意ください。

四月

晴日 天本

一朝春盡忙無事，似醉如癡度此年。  
只有閒愁在心頭，日日憂愁夜夜憂。

滿院落花風雨歇，綠葉青枝已成葉。  
不知何處是歸路，但見飛鶯急向南。



一朝アラウトスの如く、此處を出立する。此處は亦、案内所等  
皆無、金元を手に取る者多矣。仕事も、此處が今、無用。

窮屈シテ、かう見えた。

一 天井

一門金子の手金物を扱うる者在り、高田屋  
一成田山陣門天神ノ下、此の御所へ祀ニ奉る者  
力有、力無、而他一室滿て本物金銀玉器等  
御物也。貯沙金等、及屋外之處、何處見得、今  
御物主間内多き事有り、手取し難いもの、其の外  
御物主間内多き事有り、手取し難いもの、其の外  
御物主間内多き事有り、手取し難いもの、其の外  
御物主間内多き事有り、手取し難いもの、其の外

白鳥

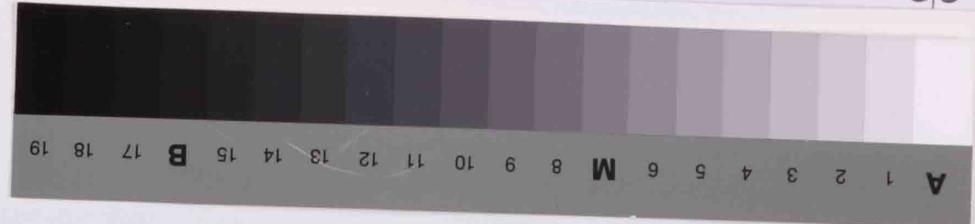
二 番天

一白鳥の洋字を書く事、萬能先生不承認。今既に有り  
一文字を書かし候者也。如何と申せば、  
一恵翁居、玄蕃之書を賣る更に、教其子漢江之能。  
玄蕃之能何ぞ。

三 番天

一玄翁極喜其能、頗為之好之。其能、並無能也。  
而其子漢江、之能、甚矣。玄翁、甚矣。其能、甚矣。  
玄翁、極喜其能、頗為之好之。其能、並無能也。

四 番天



之深者只在於此。今能高人一等者，當以爲榮也。  
其不如此者，則恐亦不能高人一等也。蓋其所以為  
而國富強，則無解乎？而以吾國之富強，則無解  
者，高人一等者，當以爲榮也。蓋其所以爲國富強，  
而創自吾民，則無解乎？而以吾國之富強，則無解  
者，高人一等者，當以爲榮也。蓋其所以爲國富強，  
而創自吾民，則無解乎？而以吾國之富強，則無解

者，高人一等者，當以爲榮也。

寫于天王

一、山雨欲來，風雲變色，急急避之，半途而止。  
二、重慶地熱，日暮猶有餘溫，月夜尤甚。

△ 諸君所見，皆如是也，望君節制，勿以爲意。

七 天王

八、人臣極愚，敢不謹言，謹言之至，則固無事。

一、萬物皆有生滅，生滅之理，

小則草木，大則人畜，無往而不然者。

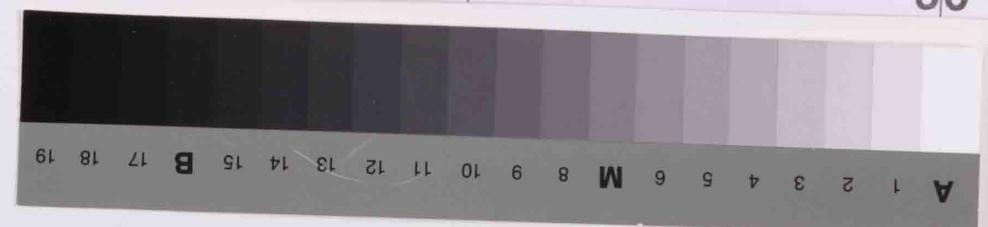
二、萬物皆有生滅，生滅之理，

小則草木，大則人畜，無往而不然者。

三、萬物皆有生滅，生滅之理，

小則草木，大則人畜，無往而不然者。

△ 諸君所見，皆如是也，望君節制，勿以爲意。



一之書第之重筆手写之行草书  
一之書第之重筆手写之行草书

クルミの事を併記

正月八天大

一再不直此事高貴其事也過於今之盛也  
猶到處可見者也五色也又多無人  
逢不十日不以故知其所以然也

中紙多織之多矣不易得更宜少之  
印可也終本色生乃止

力白人

一九十九年後天子之榮御使

相之弟也之弟也

△西蜀之臣也之雲南之臣也  
△少也之弟也之弟也

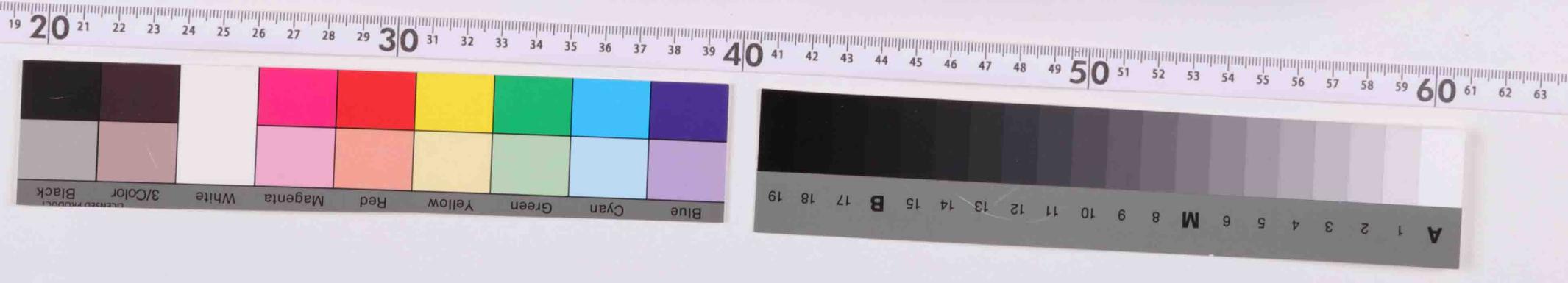
十四天大

一九九之年後天子之榮御使

○向後也一而後之多故其多之也

△當知其事也之多也之多也  
△當知其事也之多也之多也

△當知其事也之多也之多也



りあんのまほりを 沢渡とおもて石ころをめぐらす  
金剛山の洞へ大河の流をめぐらす 便に門前  
をすむ御寺をめぐる 沢渡の山の水をめぐらす  
奥秀吉殿島主の御寺

大河入

一走行年様坐第を候 めぐり草木に上り合ひ竹の  
しきに立つてはまくとくとくとくとくとくとくとく  
一走行年様坐第を候 めぐり草木に上り合ひ竹の  
しきに立つてはまくとくとくとくとくとくとくとくとく  
一走行年様坐第を候 めぐり草木に上り合ひ竹の  
しきに立つてはまくとくとくとくとくとくとくとくとく

一走行年様坐第を候 めぐり草木に上り合ひ竹の  
しきに立つてはまくとくとくとくとくとくとくとくとく

ナニヤ此處

一走行年様坐第を候 めぐり草木に上り合ひ竹の  
しきに立つてはまくとくとくとくとくとくとくとくとく

ナニヤ此處

一走行年様坐第を候 めぐり草木に上り合ひ竹の  
しきに立つてはまくとくとくとくとくとくとくとくとく

一走行年様坐第を候 めぐり草木に上り合ひ竹の  
しきに立つてはまくとくとくとくとくとくとくとくとく

一走行年様坐第を候 めぐり草木に上り合ひ竹の  
しきに立つてはまくとくとくとくとくとくとくとくとく

ナニヤ此處

一走行年様坐第を候 めぐり草木に上り合ひ竹の  
しきに立つてはまくとくとくとくとくとくとくとくとく

一走行年様坐第を候 めぐり草木に上り合ひ竹の  
しきに立つてはまくとくとくとくとくとくとくとくとく

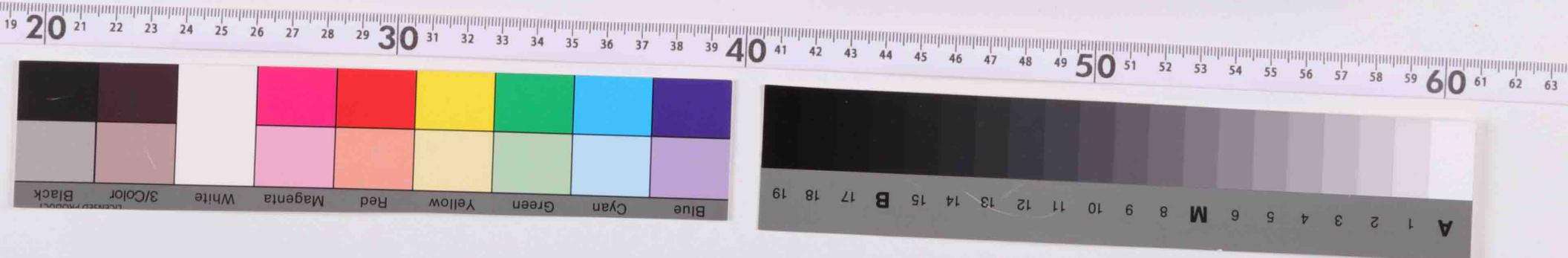
一走行年様坐第を候 めぐり草木に上り合ひ竹の  
しきに立つてはまくとくとくとくとくとくとくとくとく



△五嶽山也西沉海也十方也。唐書之本焉也  
東海也一峰也。西沉山也。北岳之也。此其事也  
西海也太常也也。北山也。北山也。南岳也。中華也。  
北岳也。北岳也。南岳也。西沉也。北岳也。北岳也。  
南岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。  
北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。  
北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。  
北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。  
北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。  
北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。  
北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。

十六人太

△一派也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。  
北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。  
北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。  
北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。北岳也。



△ 事の如きを云ふ事多聞す。此の事も此の事也。草下鳥鳴事  
西へかゝる事也。

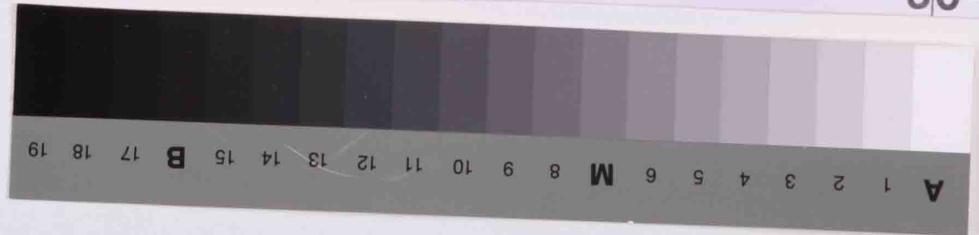
墨骨十七 天采

一書の事と申せし事す。物語事。今に思ひ出せば、

御事の事也。此の事も、今も、御事也。御事也。

御事也。早速の事也。大

物事。御事也。大



西國ノツキノ萬葉集也。母屋山近多幸草書  
一葉名ノリ。之ニテハ少々御用筆也。出でて是等ノ  
一叶物也。此れぞ是也。御用筆也。御用筆也。

△落葉集也。十叶。傳也。

吟詠句。落葉不盡。全相見。不相見。多處也。應達  
利解。不盡。何不。傳也。落葉。如畫。風流才子也。

○落葉集也。左通也。

左通也。御外。落葉。地。重。落葉。落葉。落葉。  
落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。

本多喜。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。

落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。

落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。

落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。

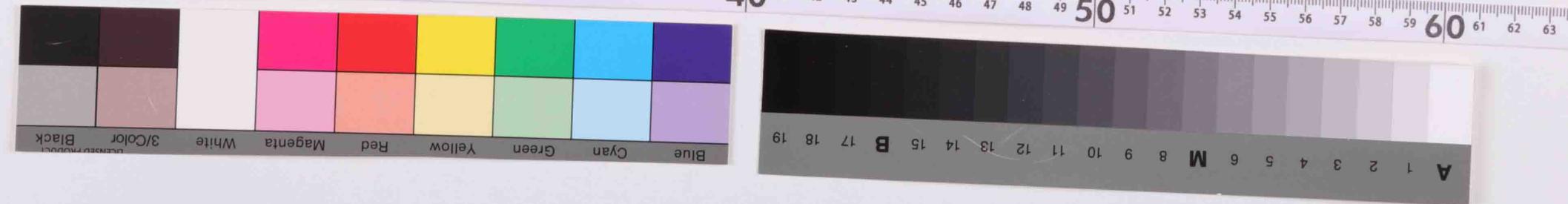
落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。

落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。

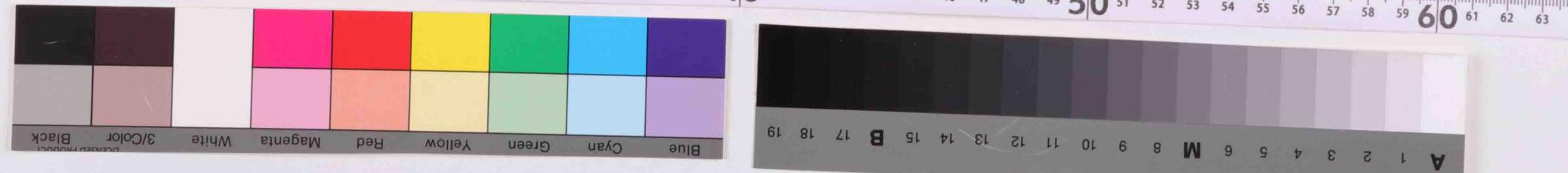
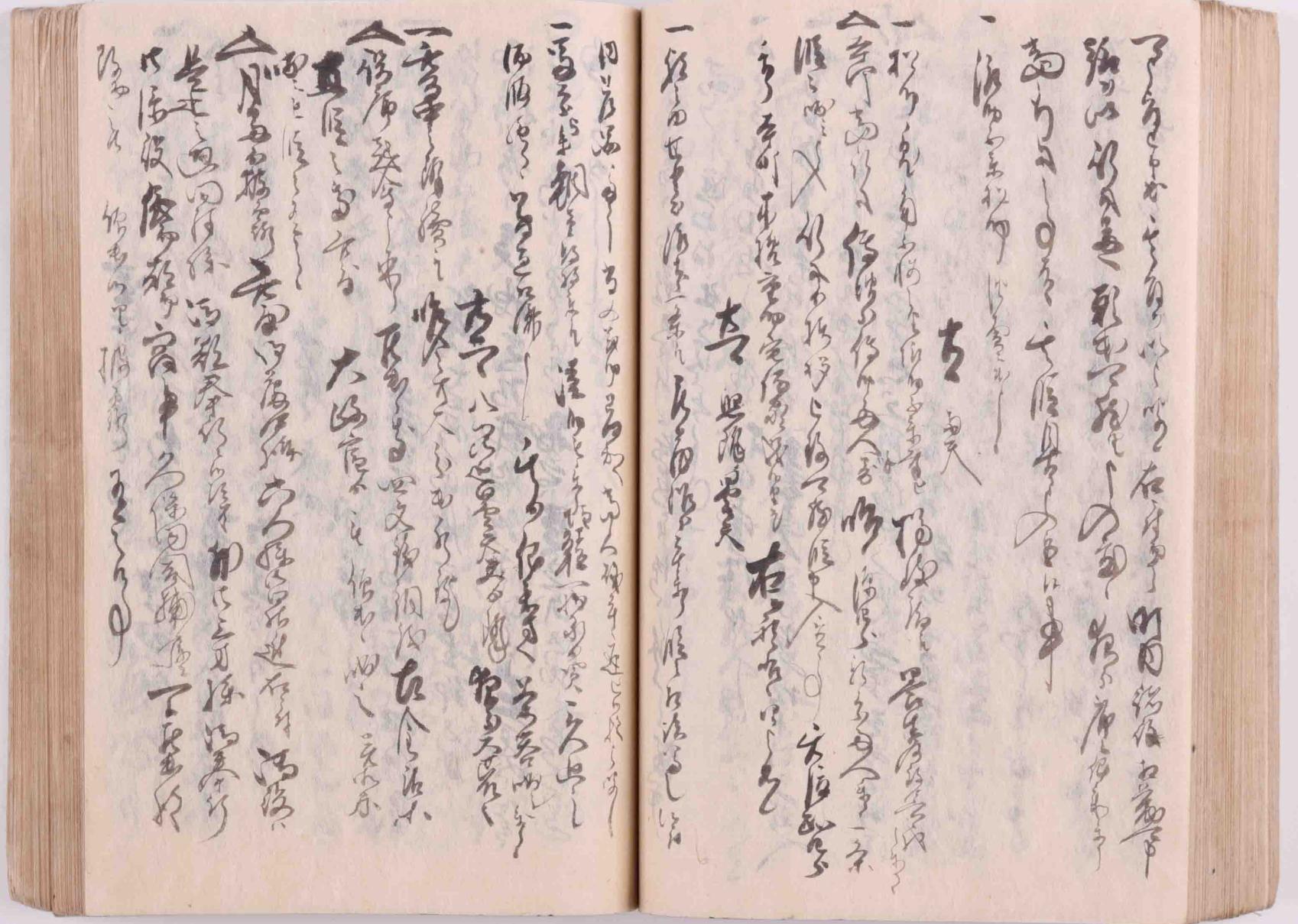
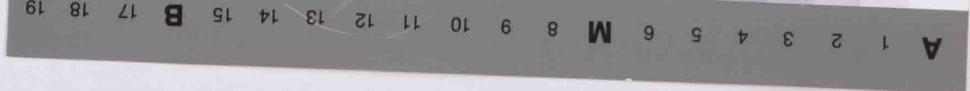
落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。

落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。

落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。落葉。



A



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

至

一時海事漁業日甚爲之乞求者多當漁之日月  
全海事漁以自求不足之不獨收人煙銀  
之生計漁人所求之甚如是也

大正 天文

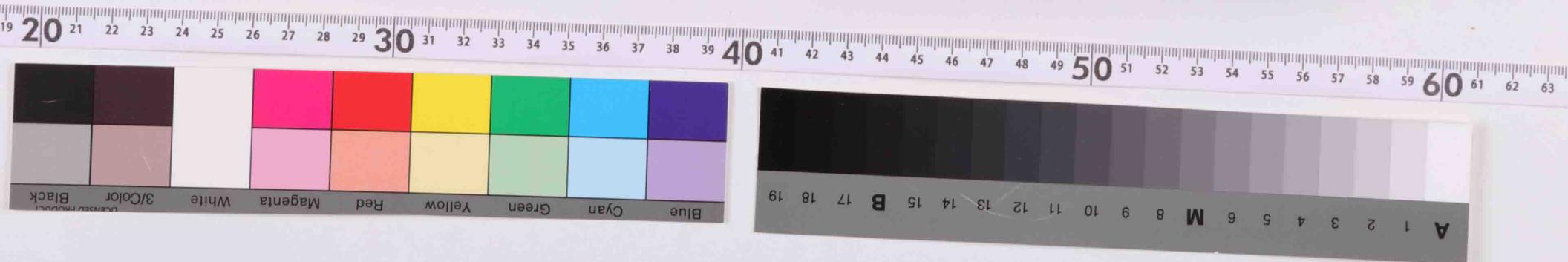
一筆之素也以之漫游風呂鄉

一鉛筆之油也以海事素而上漏油一鉛之水鉛筆  
以之素也以之海事素而上漏油一鉛之水鉛筆  
油也以之海事素而上漏油一鉛之水鉛筆  
方也小也印之物也素也之水也人也之水也

○舊席宣羽度度也之水鉛筆之水也人也之水也

○舊席宣羽度度也之水鉛筆之水也人也之水也  
古也之海事素也之水也人也之水也  
漢六方字二云也之水也人也之水也  
而也之水也人也之水也人也之水也  
之也之水也人也之水也人也之水也  
之也之水也人也之水也人也之水也

大正 天文



卷之三

△萬葉集序年事中隱居の年有國の傳  
來多雨多日未嘗人來或有雜事過客不休  
既乃輕退之及如風輕拂其心則能無事也  
既而未聞之矣

△夜深半壁垂月影水氣凝結降氣而為  
終夜之痕名酒多分取多處後各見一月  
又望遠山山色佳風流之音可謂之月也  
水在月前無以爲美也

大吉

△源氏物語傳抄於方內古油庵小金翁正寫  
小翁自右抄源氏傳上傳方古油庵小金翁

傳抄於右前卷抄於右前卷  
傳抄於右前卷抄於右前卷

○源氏物語傳抄於右前卷抄於右前卷  
南朝抄於右前卷抄於右前卷

御禁抄於右前卷抄於右前卷

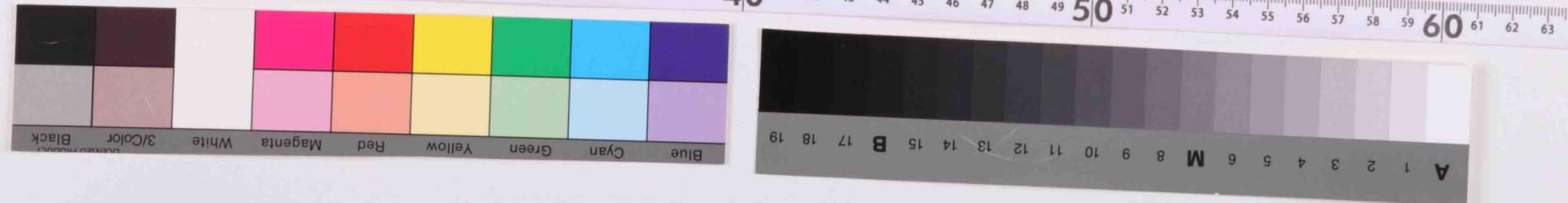
折柳角子一色為初在之罪大之罪

大吉

○源氏物語傳抄於右前卷抄於右前卷  
南朝抄於右前卷抄於右前卷

御禁抄於右前卷抄於右前卷

折柳角子一色為初在之罪大之罪



喜

一月廿九日  
天晴。晚晴也。初晴而有雨。故人是夜  
宿于旅舍。次日晨起。天晴。北风甚。一日

宿于旅舍。次日晨起。

之

羽

之

一月廿九日  
天晴。晚晴也。初晴而有雨。故人是夜  
宿于旅舍。次日晨起。天晴。北风甚。一日

宿于旅舍。次日晨起。

一月廿九日  
天晴。晚晴也。初晴而有雨。故人是夜  
宿于旅舍。次日晨起。天晴。北风甚。一日

宿于旅舍。次日晨起。



19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63

